

BEN STYLE

第219号

BenHouse

(記事はあくまでも個人の私感でございますので悪しからず。)

www.benhouse.co.jp

本場のボタン鍋は 大大当たりでした

社長 尾上大輔

丹波篠山のぼたん鍋一度は食べ
てみたかったですね。いつもは
猪うどんとかでごまかしていた
が、一生に一回この思いで上等
なお店へ行って来ました。一番
にぎやかな交差点にある『ぼた
ん亭』、みなさんも一度は見た事
あるんじゃないかな。屋上から
猪がのぞいているお店。入口入
るところちょっと高級な食堂風ビビ
る程でもなかったな。メニュー



をのぞく前に『ビールちようだ
い』で座る。メニューはっと特
上カルビぼたん鍋5980円、
ミックス肉ぼたん鍋7390
円、特上コースぼたん鍋880
0円、いつも慣れてる人なら解
るがなんせはじめてさんなの
で、ながめているときれいで
しっかりしたお姉さんが『①は
アバラの部分でしっかりとした
かみごこち、③はコースの部分
で大変やわらかいです。②は両
方入っていて食べ比べが出来ま
すよ』だって、しっかりお姉さ
んにそう言われたら、十中八九
②になっちゃうよね。日本人は
松竹梅あれば竹になってしま
う。商売の鉄則ですね。ここは
ささみやきがマニュアル化され
てる様ですね。ビールをちびちび
やってるとお肉と野菜が登場。
『お写真とられますか?』『ウ
ン』『解ってらっしゃる。』『ハ



しの舞台』みたいな思い切りだ
から楽しませてあげようという
演出です。撮り終わったころを
見計らってお肉を鍋へ思いきり
ドーンでありました。その後野
菜もドーンお鍋からあふれそう
な野菜をととのえて、しいたけ
をウラ向けて鍋ぶたをしめる。
3分程でたきあがりです。3分
たっていらしゃってふたを開け
て下さい。大ちゃん達はまるで
お子ちゃまモードであります。
『出来た野菜からめし上がって下

さい。お肉はあと3分位煮て下
さいね。』『ご親切なのがマニ
ユアルか?アルバイトのお姉さん
はとなりの客に『肉はあと5分
程煮込んで下さい』との事。ア
ドリブも有か?生肉を食べてお
腹がいたいという人もいるも
ね。一応注意喚起であります。
さて野菜からいただくとするか
『さすが一流のお店はなべの出
汁が違いますね』『うまいです。
お値打ちありますね。お肉もそ
ろそろと食すとアバラとコース
の味はけんちよであります。や
わらかいのはコースですね。高
いだけに美味いです。ほっぺが
落ちそうなお肉をいただいでい
ると、またアドライブスが『いく
ら煮こんでも固くなりませんか
ら』とのこと。というお話のウ
ラには『天然の良いお肉しか
使ってませんと意味をふくんで
るのかもです』しめはうどんを
入れていただき満足満足。だい
たい大ちゃんは七味とか入れる
のだが、それを忘れる位の完成
度でありました。やっぱり一流は

違うなと思ってしまった。あとこのお店のビールの出る速さにビックリです。30秒かからずに出て来る。ビンですけど、早い。キリンとかアサヒも聞かない。ビールリアサヒ中びん。これもスピーディにやる方法ですね。ここは観光地のまったただいいかに回転させるかも勝負みたいですね。『会計はテーブルで一括、両替は出来ません』と書いてあり、言わなくて良い様にここのご主人はすごく合理主義と思いましたがね。高いけど。高いと思わせない仕組みを見せていただきました。今日も勉強になったなあ。感謝感謝です。

経営計画発表会

システムエンジニアチーム 園部 汰樹

一月六日にベンハウスの経営計画発表会が開催されました。この発表会では、二〇二三年の振り返りと二〇二四年の展望が述べられ、貴重な機会となりました。経営計画の内容はもちろんです。特に社長が示した今年

の方針には感銘を受け、私たちとともに会社の成長に向けた決意が伝わりました。さらに、経営計画発表会の後には、四月に入社する新入社員も参加した懇親会が開催されました。懇親会では、お寿司が振る舞われ、皆で楽しいひとときを過ごしまし



寒さにご用心

システムエンジニアチーム 前田 剣臣

いつものように自室でPCを用いた作業を行っていた時の話です。その日はとんでもない寒さでしたので、電気ストーブで暖を取りながらホットコーヒーで温まろうと思いきや、電気がケトルでお湯を沸かしていた矢先、『パチ



た。お酒も楽しみながら、新しい年の始まりを祝いました。二〇二四年はどのような年になるのでしょうか。期待と希望で胸が膨らみますね。

『コン！』目の前が真っ暗になりました。どうやら家のブレーカーが落ちたようです。暗闇の中『暗いよー！こわいよー！』と泣きわめいていると親がブレイカーを上げてくれたので安心してコーヒーを飲むことができました。めでたしめでたし。あれ……何か忘れていた……あれ？PCで作業していたデータ保存したっけ？？？青ざめる顔、引いていく血の気、これは寒さによるものなのかデータが消えたことによるものかは未だ迷宮入りです。幸い、自動保存機能を用意にしていたのでデータの紛失を免れましたが、運が悪いとPCの電源が落ちたと同時にPC内のデータがすべて消えてしまう可能性もありましたので、バックアップの重要性を再確認しました。みなさまも電化製品の使い過ぎにはお気を付けください。

